

川越市民の会　**柳沢貴雄**（やなぎさわ たかお）

災害時のペットの同伴避難　7

問熊本地震ではペットを理由に車中泊を選び、体調を崩す避難者が相次いだ。ペットと「同室」で避難できる「同伴避難」について、市はどのように考えているのか。

答危機管理監　犬や猫等の動物と一緒に暮らしている人にとっては、ペットも大切な家族の一員と認識している。避難所は動物が苦手な人などさまざまな人が避難する場所であり、避難所ごとにペット専用スペースをあらかじめ定め、ペットを連れた避難者と他の避難者が共に安心して過ごせるよう環境整備に努めている。避難者がペットと同室で避難することができる同伴避難についても、他団体の先進事例を参考にしながら、調査研究していく。

関大規模災害への備え



公明党　**中村文明**（なかむら ふみあき）

小中学校における暑熱対策　9

問先進事例も参考にしながら、モデル校においてマイボトル用給水機導入などの水分補給対策を試行し、その効果を検証していくことについて、教育長の考えを伺う。

答教育長　児童生徒の安全と健康の確保は、学校教育の基盤であり、重要課題であると認識している。提案の給水機導入については、熱中症対策のみならず、マイボトル活用を通じた環境教育や健康意識の向上など、多角的な視点からも意義深いものと受け止めている。

　他自治体の先進事例や導入の効果・課題などを把握し、モデル校での検証を含め、実効性のある給水環境の充実に向け検討を進めたいと考える。

関小中学校の諸課題



公明党　**嶋田弘二**（しまだ こうじ）

若者の就労・生活支援　11

問就労の課題を抱える若者に対して今後、どのように対応していくのか伺う。

答産業観光部長　本人や家族からの相談が寄せられた際には、適切な支援に結び付けられるよう日頃から関係する部署との連携に努めていく。また、本人への就労に関する支援は、相談先や支援先の存在を本人や家族に知ってもらうことが重要と考え、ＳＮＳなどを活用した情報発信の充実に努めていく。発信する情報についても、支援の当事者である若者の傾向などを意識し興味を持って就労の一歩を踏み出すきっかけとなるような情報の収集にも努めていく。

関若者の就労・生活支援



公明党　**鈴木謙一郎**（すずき けんいちろう）

高齢者の安心な暮らし　8

問高齢者の消費者被害を未然に防ぐため、今後どのような取り組みを進めていくのか伺う。

答市民部長　消費者被害の発生後では被害回復が困難な場合が多いため、市民への注意喚起や啓発活動が重要である。現在、消費生活講座の開催や市ホームページへの掲載などを通じて啓発活動を行っており、今後は最新の被害事例や手口を収集・分析し、分かりやすい周知に取り組んでいく。また、地域包括支援センターや民生委員、ケアマネジャーといった福祉関係者との連携を一層深め、地域全体で高齢者の異変やトラブルの兆候を早期に察知できる体制を強化し、被害の未然防止に取り組んでいく。

関消費者トラブル　関エアコン購入費の助成



公明党　**須藤直樹**（すどう なおき）

地下道の維持管理・改善を　10

問新河岸駅地下道について、今後、どのように維持管理に取り組んでいくのか伺う。

答建設部長　新河岸駅地下道については、清掃業務等の日常管理を継続し、利用者が安全・安心に利用できる施設として維持管理をしていく。

　また、施設の経年劣化に対する課題に対しても、計画的に設備等の修繕や更新が進められるように取り組んでいく。



関高階地区の安心・安全



無会派　**伊藤正子**（いとう まさこ）

市民に寄り添う生活支援を　12

問国の調査で８割が生活が苦しいと回答。特に生活が厳しいとされる母子世帯に対する支援の考え方を伺う。

答こども未来部長　国の調査結果によると、母子家庭の平均年収は236万円で父子家庭496万円の半分以下である。その要因の一つである非正規雇用の問題に対応するため、資金計画、生活全般の相談に対応する母子・父子自立支援員や就業に当たっての支援・助言を行う就業支援専門員を配置し、正規雇用に向けた支援を行っている。

　今後も、多様な課題を抱えるひとり親世帯の生活状況やニーズの把握に努め、当該世帯が安心して暮らせる生活基盤を築けるよう支援していく。

関データセンターと住環境　関市民生活を支える政策